

## 資料8 千葉県スポーツのあゆみ

年度	西暦	スポーツ組織及び計画のあゆみ	主なスポーツのできごと	国のあゆみ	
S20	1945	・県庁教学課体育係を設置		・文部省に体育局復活	
21	1946	・社会体育課が教学課から分離独立 (社会体育課体育係)	・国民体育大会に県42名派遣	・第1回国民体育大会	
22	1947	・県体育会から県体育協会に改組 ・県体育課の設置	・県教職員体育大会開催	・第1回全国レクリエーション大会	
23	1948	・教育委員会制度発令 ・県庁教育部体育課から教育委員会事務局 体育課へ移行 ・県高等学校体育連盟結成	・第1回県民体育大会開催	・全国高等学校体育連盟発足	
24	1949	・体育課が健康教育課と改称 ・県小中学校体育連盟結成	・第4回国民体育大会野球競技開催	・国際オリンピックに復活 ・保健体育審議会設置	
25	1950	・県教育委員会が県教育庁と改称			
26	1951		・日米親善レスリング、全日本学生 陸上開催		
27	1952		・ヘルシンキオリンピック大会で本県の石井庄八 選手がレスリングバンタム級優勝		
28	1953	・健康教育課が保健体育課に改称			
29	1954		・全国学校保健体育研究協議会開催		
30	1955			・全国中学校体育連盟発足	
31	1956	・県レクリエーション協会発足 ・日本女子体育連盟千葉県支部発足	・体育指導員制度発足 ・県スポーツ記者会グリーンリボン賞を設定し年間 最優秀スポーツ選手を表彰	・第1回世界柔道選手権大会開催	
32	1957			・スポーツ振興審議会設置	
33	1958		・文部省の社会体育表彰を開始	・国立競技場竣工	
34	1959		・教員皆泳運動(第1回水泳教室)	・オリンピック東京大会組織委員会発足	
35	1960	・県体育指導委員連絡協議会発足		・全国体育指導委員協議会 発足	
36	1961	・保健体育課内に運動競技係新設	・県体育協会15周年記念式典	・スポーツ振興法公布	
37	1962	第1次計画	・県スポーツ振興審議会発足	・文部省にスポーツ課設置 ・日本スポーツ少年団設立	
38	1963		・保健体育課が体育課と学校保健課に分離独立		
39	1964		・オリンピック東京大会近代五種競技断郊競争 ・スポーツテスト講習会の部千葉県検見川東大 グラウンドで開催	・第18回オリンピック 東京大会開催	
40	1965		・第1回巡回スポーツ技術教室 ・第1回小学校水泳教室	・体力づくり国民会議発足	
41	1966		・県総合運動場陸上競技場完成	・「体育の日」制定	
42	1967	第2次計画	・第28回国民体育大会千葉県開催 内定	・ユニバーシアード東京大会開催	
43	1968		・国体準備室の設置 ・千葉県女子体育連盟に改称	・第22回全国レクリエーション大会開催 (メキシコオリンピック)	
44	1969		・県体育協会を法人化	・第1回中学校水泳教室 ・全国高等学校総合体育大会5種目 開催	
45	1970			・東部地区学校体育研究大会開催	
46	1971		・第12回全国体育指導委員研究協議会開催	・スポーツ安全協会傷害保険発足 ・札幌オリンピック冬季大会開催	
47	1972		・学校体育施設開放事業開始	(ミュンヘンオリンピック)	
48	1973	第3次計画	・第28回国民体育大会開催 ・県体育会館完成		
49	1974		・体育課内にスポーツ指導係設置		
50	1975		・派遣社会教育指導主事制度開始	・派遣社会教育主事(スポーツ担当)制度発足	
51	1976		・第16回全国中学校選抜水泳大会 開催	(モントリオールオリンピック)	
52	1977		・県体育協会創立30周年記念式典		
53	1978	第4次計画	・ファミリースポーツ推進と広報活動の展開 ・県スポーツ史Ⅱ発刊		
54	1979		・競技力向上ジュニア対策事業開始		
55	1980		・第35回国民体育大会ヨット競技開催	(モスクワオリンピック)	
56	1981	第5次計画	・全国高等学校総合体育大会4種目 開催		
57	1982		・県体育指導委員連絡協議会が県体育指導委員 連合会に改組	・県社会体育公認指導員認定講習会 開始 ・中堅体育指導者研修会開始 ・体力向上推進委員研修会開始	
58	1983			・第14回全国中学校体操・新体操選手権大会開催 ・「千葉県の体育・スポーツ」を刊行	
59	1984		・県が「2000年の千葉県」策定 (S61年～H2年)		(ロサンゼルスオリンピック)
60	1985			・国民体育大会7年連続 (天皇杯または皇后杯)入賞	・ユニバーシアード神戸会開催

年度	西暦	スポーツ組織及び計画のあゆみ	主なスポーツのできごと	国のあゆみ	
61	1986	第6次計画	・県が「ふるさと千葉5カ年計画」策定(61年～H2年)	・中高年スポーツ指導者講習会開始	
62	1987		・第40回県民体育大会	・教育改革推進大綱スポーツの振興に関する懇談会発足	
63	1988		・国際千葉駅伝開始 ・第24回関東体育指導委員研究大会開催 ・ソウルオリンピック大会で本県の・鈴木大地選手が100m背泳ぎで優勝・鈴木大地選手に県民栄誉賞を授与	・文部省機構改革(生涯学習局設置、スポーツ課を生涯スポーツ課、競技スポーツ課に分離) ・第1回全国スポーツ・レクリエーション祭開催 ・国民体育大会2巡目開催(ソウルオリンピック)	
H元	1989		・格技から武道へ名称変更	・第27回全国学校体育研究大会開催 ・県民体育大会5地区巡回開催開始	・保健体育審議会「21世紀に向けたスポーツの振興方策について」答申 ・第1回生涯学習フェスティバル開催 ・(財)日本オリンピック委員会設立
2	1990	・県教育庁生涯学習部体育課となる ・国際スポーツ交流準備班を推進室に改称		・第1回生涯スポーツコンベンション開催 ・スポーツ振興基金設立	
3	1991	第7次計画	・県が「さわやかハートちば5カ年計画」策定(H3年～7年) ・スポーツ施設班の設置	・第41回世界卓球選手権大会開催	・ユニバーシアード冬季大会開催(札幌)
4	1992		・(財)県スポーツ振興財団設立	・県スポーツプログラマー養成講習会開始 ・2002年ワールドカップサッカー大会千葉県立候補	(バルセロナオリンピック)
5	1993		・第6回全国スポーツ・レクリエーション祭開催 ・1994年世界フィギュアスケート選手権大会開催 ・FJ級ヨット世界選手権大会開催		
6	1994		・県スポーツ振興基金設立	・嘉納治五郎杯国際柔道大会開催	・第12回アジア競技大会開催(広島市)
7	1995	・千葉県スポーツ振興マスタープラン(仮称)策定委員会設置	・UITワールドカップ(クレール射撃)千葉大会、世界柔道選手権大会他 3つの国際スポーツ大会開催 ・平成17年度全国高等学校総合体育大会千葉県開催了承 ・平成22年第65回国民体育大会招 致決議開催要望書提出	・ユニバーシアード福岡大会開催	
8	1996	第8次計画	・県が「ちば新時代5カ年計画」策定(H8年～H12年) ・千葉県スポーツ振興マスタープラン策定(H8年H32年)	・国際総合水泳場完成 ・第28回アジアウエイトリフティング選手権大会兼第9回アジア女子ウエイトリフティング選手権大会大会他2つの国際スポーツ大会開催	・2002年W杯サッカー日韓共催決定(アトランタオリンピック)
9	1997		・国際スポーツ交流推進業務を運動競技係が担当 ・千葉県中核的スポーツ施設整備基本計画の策定	・県体育協会50周年記念式典 ・東部地区学校体育実技指導者講習会開催 ・第33回関東体育指導委員研究大会開催 ・萩村杯全日本グランプリ'97国際卓球選手権大会開催 ・長野オリンピック聖火リレー実施 ・生涯スポーツコンベンション'98開催	・保健体育審議会「生涯にわたる心身の健康保持のための今後の健康に関する教育及びスポーツの振興の在り方について」答申 ・長野オリンピック冬季大会開催
10	1998		・国際スポーツ交流推進室を廃止 ・スポーツ施設整備室を設置 ・県が「長期ビジョン」策定	・県高等学校体育連盟50周年記念式典 ・県小中学校体育連盟 50周年記念式典 ・1998/バレーボール世界選手権男子千葉 幕張大会開催 ・アウトドアスポーツ指導者講座開始 ・ライフステージ対応スポーツ指導者講座開催	・新体カテスト
11	1999		・係を廃止し班 ・国体、総体準備班設置 ・「千葉県教育長期ビジョン」策定	・県スポーツ科学総合センター開所 ・1999世界大学ウエイトリフティング選手権大会開催	・スポーツ振興法一部改正
12	2000	・国体・総体準備室に改称 ・県が「新世紀ちば5か年計画」策定(H13年～17年)	・シドニーオリンピック大会で本県の永田克彦選手がレスリング・69kg級で準優勝 ・女子マラソンで優勝した高橋尚子選手に県民栄誉賞、その指導者、小出義雄監督に県知事特別賞、永田克彦選手に県知事賞を授与	・保健体育審議会「スポーツ振興基本計画の在り方について一豊かなスポーツ環境を目指す」答申 ・文部省が文部科学省に、体育局がスポーツ・青少年局に(シドニーオリンピック)	
13	2001	第9次計画	・千葉県競技力向上推進本部の設置 ・スポーツエキスポ派遣事業開始 ・千葉県広域スポーツセンター事業開始	・第8回世界陸上競技選手権大会ハンマー投げで2位となった室伏広治選手に県知事賞を授与	
14	2002		・第14回アジア競技大会馬術競技障害飛越で団体優勝した林 忠義選手、同テニス競技男子で団体優勝した寺地貴弘選手、同柔道90kg級で優勝した矢崎雄大選手に県知事賞を授与	・中央教育審議会が子どもの体力向上のための総合的な方策についてを答申 ・ワールドカップサッカー日本・韓国共催にて開催 ・学校週5日制の完全実施 ・スポーツ振興くじ実施による助成開始	
15	2003		・生涯学習部体育課から教育振興部体育課となる ・学校体育室、スポーツ振興室、総体推進室の3室体制に改組・国体準備室は環境生活部県民生活課へ移管	・第11回全国中学校駅伝の開催 ・第37回世界体操競技選手権大会で鉄棒、あん馬に優勝した鹿島丈博選手、同大会で個人総合3位の富田洋之選手、第9回世界陸上競技選手権女子マラソンで3位の千葉真子選手に県知事賞を授与	
16	2004		・総体推進室が南庁舎に移動	・第28回アテネオリンピック陸上競技ハンマー投げ1位の室伏広治選手、団体体操競技団体優勝の富田洋之、鹿島丈博、米田 功選手に県民栄誉賞を授与、同大会水泳競技3位の森田智己選手、ヨット競技3位の関一人選手、野球競技3位の小林正英選手、清水直行選手、金子誠選手に県知事賞を授与、男子体操競技監督の加納 貴監督に千葉県知事特別賞を授与	(アテネオリンピック)
17	2005	・2005千葉きらめき総体の開催(・環境生活部県民生活課国体準備室から環境生活部国体準備室となる)	・千葉ロッテマリーンズアジアシリーズ及び日本シリーズ制覇 ・JEF市原千葉ナビスコカップ制覇		

年度	西暦	スポーツ組織及び計画のあゆみ	主なスポーツのできごと	国のあゆみ
18	2006	(・環境生活部国体準備室から環境生活部国体・全国障害者スポーツ大会局となる)	・第15回アジア競技大会陸上競技棒高跳で優勝した澤野大地選手、同大会7人制ラグビーフットボール競技で優勝した鈴木貴士選手に県知事賞を授与	・スポーツ振興基本計画の一部改定
19	2007	・「千葉県教育の戦略ビジョン」策定 ・いきいきちばっ子健康・体力づくりモデルプラン作成		
20	2008		・第29回北京オリンピック陸上競技400mリレー3位の高平慎士選手、同大会体操競技2位の坂本功貴選手に県知事賞を授与	(北京オリンピック) ・小学校、中学校学習指導要領改訂
21	2009	・体育の授業マスター認定事業	・2009年世界柔道選手権大会女子48kg級で優勝した福見友子選手、第14回世界剣道選手権大会女子個人で優勝した鷹見由紀子選手に県知事賞を授与	・高等学校、特別支援学校学習指導要領改訂
22	2010	・「千葉県総合計画」策定 ・「千葉県教育振興基本計画」策定 ・2010ゆめ半島千葉国体 開催 ・2010ゆめ半島千葉大会 開催 ・「千葉県体育・スポーツ振興条例」制定	・ワールドカップサッカー南アフリカ大会ベスト16進出に貢献した田中マルクス闘莉王選手、玉田圭司選手、阿部勇樹選手に千葉県知事特別賞を授与 ・世界柔道選手権2010東京大会男子73kg級で優勝した秋本啓之選手、同大会女子52kg級で優勝した西田優香選手に千葉県知事特別賞を授与 ・千葉ロッテマリーンズ日本シリーズ制覇 ・第17回世界相撲選手権大会及び第16回アジア競技大会で優勝した10名に、県知事賞を授与	・スポーツ立国戦略の策定 ・スポーツ基本法の検討
23	2011	・千葉県教育庁教育振興部体育課に「ちばアクアラインマラソン」準備室設置 ・第11次「千葉県体育・スポーツ推進計画」の策定	・2011FIFA女子ワールドカップドイツ大会で金メダルに輝いたなでしこジャパン宮間あや選手、丸山桂里奈選手に県民栄誉賞を授与 ・2011世界柔道選手権(フランス・パリ)大会、女子57kg級優勝の佐藤愛子選手に千葉県知事賞を授与 ・2011FIFA女子ワールドカップドイツ大会で金メダルに輝いたなでしこジャパンの選手・監督に国民栄誉賞を授与 ・柏レイソルJ1復帰の年にJ1リーグ初制覇	・3.11東日本大震災発生 ・東日本大震災復興支援事業開始 ・スポーツ基本法の制定
24	2012	・公益財団法人千葉県体育協会へ移行 ・千葉県スポーツ推進委員連合会へ改名 ・ちばアクアラインマラソン2012開催 ・毎年10月をスポーツ立県ちば推進月間に指定 ・平成26年度全国高等学校総合体育大会千葉県実行委員会設立	・2012ロンドンパラリンピック大会水泳競技で金メダルに輝いた田中康大選手に県民栄誉賞を授与 ・第30回ロンドンオリンピック大会銀メダリスト道男子60kg級平岡拓晃選手、フェンシング男子団体フルーレ三宅諒選手、体操競技男子団体加藤凌平選手、田中佑典選手、水泳競技男子400mメドレーリレー藤井拓郎選手に千葉県知事賞を授与 ・第13回世界ソフトボール選手権大会で金メダルに輝いた大久保美紗選手、関友希央選手、峰幸代選手に県知事賞を授与	(ロンドンオリンピック) ・「スポーツ基本計画」策定
25	2013	・千葉県体育・スポーツ推進事業開始	・長嶋茂夫氏がプロ野球会への貢献による国民栄誉賞受章	・2020年夏季オリンピック・パラリンピック開催地が東京に決定 ・第2期教育振興基本計画 ・子どもの貧困対策の推進に関する法律 ・運動部活動ガイドライン
26	2014	・煌めく青春 南関東総体2014の開催 ・ちばアクアラインマラソン2014開催 ・トップ・プロスポーツとの連携「ちば夢チャレンジ☆バースポート・プロジェクト」開始 ・めざせ東京オリンピックちばジュニア強化事業開始	・第14回世界女子ソフトボール選手権大会で金メダルに輝いた市口侑果選手に千葉県知事賞を授与 ・世界柔道選手権2014チェリヤビンスク大会で金メダルに輝いたベイカー茉秋選手に県知事賞を授与 ・第17回アジア競技大会金メダリストの体操競技男子団体総合齊藤優佑選手、トライアスロン競技女子個人/混合リレー上田藍選手、混合リレー佐藤優香選手、ラグビー競技7人制萩澤正太選手に県知事賞を授与	(ソチオリンピック) ・スポーツフォートゥモロー(～2020まで) ・御嶽山噴火
27	2015	・第25回世界少年野球大会千葉大会開催	・第46回世界体操競技選手権大会で金メダルに輝いた早坂尚人選手、萱和磨選手に千葉県知事賞を授与	・スポーツ庁設置 ・地域における障害者スポーツ普及促進事業 ・「改正公職選挙法」公布
28	2016	・ちばアクアラインマラソン2016開催	・第31回オリンピックリオデジャネイロ大会金メダリスト体操競技男子団体加藤凌平選手、田中佑典選手、柔道男子90kg級ベイカー茉秋選手に県民栄誉賞を授与	・熊本地震(リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック)
29	2017	・第12次「千葉県体育・スポーツ推進計画」策定	・札幌冬季アジア競技大会	・「第2期スポーツ基本計画」策定
30	2018		・女子バレーボール世界選手権2018 ・第16回世界女子ソフトボール選手権大会	
31	2019		・ラグビーワールドカップ2019 ・2019女子ハンドボール世界選手権大会 ・世界柔道選手権大会 ・2019世界フィギュアスケート選手権大会	
32	2020		・東京オリンピック・パラリンピック競技大会	
33	2021		・ワールドマスターズゲームズ2021関西 ・世界水泳選手権大会	